

トカプチの風

令和4年7月21日発行 特別号

＝ 令和4年度 第1回「十勝人材育成会議」の開催 ＝

6月21日（火）、十勝合同庁舎4階教育局会議室において、標記会議を遠隔会議形式で開催しました。本会議の目的は、十勝の子供たちに地域への誇りや愛着を育むとともに、地域の将来を担う当事者としての意識の向上を図るため、産学官による連携体制を構築し、学校と地域の連携を図った取組の一層の充実を図ることを主な目的として、管内の教育関係機関や地域関係機関の方々に出席いただき、開催したものです。

今回の会議では、前半は、教育局等の取組について説明し、後半は、テーマに基づく協議を行い、関係協力機関の方々から様々な御意見をいただきました。

教育局では、今回の会議でいただいた意見を2つの実証事業、動画教材作成とデュアルシステム（学校での座学と企業等での実習を組み合わせた学習）へどのように反映させるかについて、その工夫改善と各学校への支援等の充実を図るとともに、今後、学校と地域の協働体制を構築し、企業実習等の取組を通じて、連携の在り方を検証することとしています。

会議の概要は次のとおりとなっています。

十勝人材育成会議 協力機関一覧

【教育関係機関】

- ・北海道高等学校長協会十勝支部
- ・北海道特別支援学校長会十勝支部
- ・国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学

- ・帯広大谷短期大学

【地域関係機関】

- ・帯広商工会議所
- ・北海道商工会連合会
- ・北海道中小企業家同友会とかち支部
- ・帯広建設業協会
- ・帯広二建会
- ・北海道農業協同組合中央会
- ・東北海道木材協会
- ・十勝老人福祉施設協議会



【協議】

テーマ 児童生徒に地域への誇りや愛着を育み、地域の将来を担う当事者としての意識をより一層図るため、学校や地域は何をすべきか。

《主な意見等》

- ・普通科の生徒にとっては、様々な職種を知ることができるデュアルシステムが更なる発展をすることに期待している。総合的な探究の時間において、課題解決学習を行っているので積極的に利用したい。（教育関係者）
- ・地元で就職する者の確保はもちろん他地域に行っても十勝に関わってもらえる人材の育成を目指しているが、地元へ愛着を持たせる取組が必要である。（教育関係者）
- ・農業分野では、農業の担い手を増やす方策として先ほど教育局からご紹介いただいた動画の活用及び管内の農協青年部が小中学生を対象に食農教育を行っているが、新たな取組がさらに必要である。（地域関係者）
- ・地元の小・中・高校生に出前授業を行い、十勝の魅力を発信している。デュアルシステムより前に、子供たちに広く十勝でできる仕事を説明する機会をいただきたい。（地域関係者）
- ・高校生の採用に力を入れているが、近年、新卒者及び就職希望者が減少傾向にあることから、他地域へ進学した進学者の戻りに期待しているところである。十勝の魅力をどう伝えるか、模索している。地元の企業が、魅力をアピールできる場がほしいところである。（地域関係者）

各学校においては、上記の会議の内容を参考に、児童生徒の地域への誇りや愛着を育む取組や、地域と連携した取組の一層の充実を図るようお願いします。